

チロリ通信！VOL.12 (2015.5)

発行元：NPOしずおかセラピードッグサポートクラブ

〒410-0036 沼津市平町24-4-902

電話&FAX 055-962-3190

<http://npo-stds.com/>



平成 26 年度活動報告

1. 国際セラピードッグ協会 被災犬保護プラザ完成！(H27/2)

今年も東京・千葉への旅行にクラブメンバーと共に同行させて頂きました。相も変わらず和気あいあいとした雰囲気の中、松戸市のトレーニングセンターを見学することが出来ました。昨年は建設中だった犬舎も完成し（加和太建設様ありがとうございます）セラピー犬になるべく、元気に訓練に励んでいる保護犬・被災犬達の姿を見られ嬉しくなりました。施設では犬舎視察、ビデオ上映、大木トオル代表によるお話を頂きました。代表はお話の中でライフワークとして動物愛護に携わる事の意義をお話しされ、自分達に出来ることは何か？と改めて考えさせられました。私は社会貢献として動物介在活動を行います。その活動を通して犬達、またそれを必要とした人々にとって生きる源となる様、調律する立場になれると信じています。一人では出来ませんがこのクラブのメンバーとなら実行出来る。クラブへの入会も決め、更なる活動をしていく次第です。（笠井 憲司）

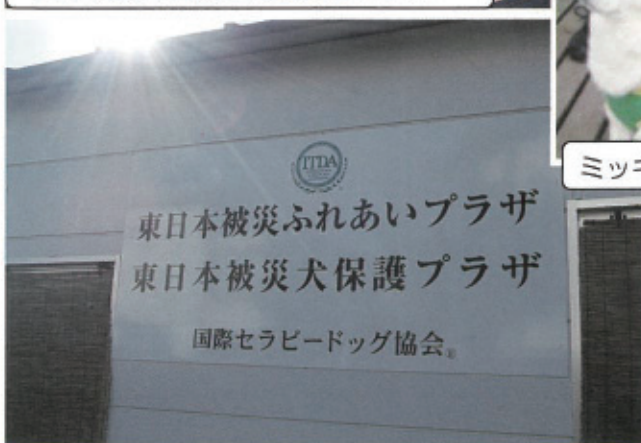
クラブメンバー総勢 30 名で訪問した、千葉県松戸にある国際セラピードッグ協会トレーニングセンター。今回の目的は大木トオル先生の新たな取り組みである、東日本大震災で被災した犬たちのシェルターが完成、その視察でした！和気あいあいと和やかな道中でしたが、センターに着き、大木先生からいろいろ話を聞くにつれ、私たちの表情は引き締まっていました。日本の殺処分問題と、被災犬問題は全く違うもの。あの震災は段々風化されているけれど、被災した犬はまだたくさんいます。レスキューの幅を広げている大木先生は本当に素晴らしいと思います。犬たちは「セラピードッグ」という名前に生まれ変わり、嬉々としてトレーニングに励んでいました。生きている！というエネルギーを感じました。私はこのクラブの活動、大木トオル先生の活動に携わることができてとっても嬉しいです。セラピードッグたちがこれからも幸せでありますように、そして彼らの背景にある複雑な問題をなくしていくよう、真の動物愛護を目指してこれからもがんばっていきます。（笠井 清美）



大木代表のお話聞き入るメンバー



下は小学生から幅広い年齢層が参加



ミッキ〜！



訓練の様子

2. 仲見世商店街七夕祭り メガ短冊を飾ろう！に参加

7月、沼津仲見世商店街、毎年恒例の七夕祭り。今年は「メガ短冊を飾ろう！」に参加しました。大きな短冊に思い思いの飾り付けをして仲見世に飾ります。当クラブはもちろん、動物愛護と命の大切さをアピールしました。作成は、6月の定例会の時にを行いました。いつも募金でお世話になっている、PB倶楽部会長さんご夫妻もお手伝いに来てくださいました。皆でワイワイ、童心に返って楽しい工作タイムを過ごしました。



仲見世商店街に飾られたメガ短冊(左)

出来上がった短冊と、ご機嫌のメンバー(右)



3. だがしや楽校@三島大社 2014に参加！(8/24)

毎年、夏休み最後の日曜日は恒例となっている、三島大社の「だがしや楽校」に参加しました。4回目となる今年はワークショップ「折り紙で犬を作ろう」を提供しました。たくさんの子ビッチが、夢中で折り紙を折る姿はとても微笑ましかったです。メンバーは、子供たちに折り方を教えながら、動物愛護について、話をすることもできました。1匹1匹、全部名前をつけて、約180匹の個性豊かなワンちゃんの来上がりしました。参加してくれた子供たちは、小さな命を大切にする、心優しい大人になってくれることでしょう！

子ビッチと一緒に楽しんでいるメンバー



4. 2014 ぬまづ福祉まつり 参加 (11/3)

キラメッセ沼津にて行われた「ぬまづ福祉まつり」に今年も参加いたしました。楽しい! ぶく See! すばらしい! をキャッチフレーズにいろいろな福祉関連のブースが、参加していました。当クラブでは、東京から来てくれた、国際セラピードッグ協会の犬たちが、たくさんのお客様を迎えました。触れ合いコーナーでは、犬たちは大人気でした。この犬たちが元は捨て犬で、殺処分寸前だった事を話すと、びっくりする人もたくさんいました。犬たちのデモンストレーションでも、みなしかり指示をきいて、立派に演技をこなしました。とても有意義な一日でした。(竹松 美津子)



セラピードッグは大人気!

5. 第一回 ぬまづわんわん大運動会参加 (11/16)

心地良い秋風の中、沼津中央公園をメイン会場に開催された「第1回わんわん大運動会」に、私達セラピードッグサポートクラブも本部スタッフとして参加しました。

「愛犬と一緒に街に出よう〜！」を合い言葉に、開会式から様々な犬種のワンちゃん達が参加してくれました。

会場内で行われた「しつけ教室」や人間と愛犬のペアでの「体力測定」、「コスプレ大会」など、楽しい内容で過ごしてもらいながら、同時にクラブ員の預かりとなっていた保護犬の柴犬「花丸」と会場で触れ合ってもらおう事で、私達の活動を幅広い年齢層の方々に知って頂く事も出来、とてもいい機会になったと思います。

初めての開催と言う事で何もかも手探りの状態でしたが、一日を通して何のケガもトラブルもなく、最後まで笑顔で無事に終える事ができました。人と犬との共生や動物愛護についても考えることができたイベントなので、今後も続くことを願っています。(清水 まゆみ)



当クラブは本部受付を担当



犬種も様々なワンちゃんたち



6. 捨て犬・命のレスキュー記録！幸せになったワンコたち！

① 柴系 Mix・ラフ (H26/10 譲渡)

富士保健所にいたラフはとても痩せていました。毛艶も悪く、陰部から分泌物まだおっばいが出ており、出産したばかりかも？のワンコでした。這いつくぱりながら怯えたように、でも、尻尾を振って近寄ってきた姿がとても印象的でした。レスキュー当初は無表情で散歩でも歩かなかったのですが、だんだん明るくなって、犬らしくなってくる様はとても嬉しかったです。地域の皆さんに好くしていただきました。ご縁有って、近所の優しいご夫婦宅のワンコになりました。長年飼っていたメス犬を亡くされたばかりのご夫婦は、ラフに会うたび、里親になりたい！と想っていたとのこと。預かり期間は短かったですが、私たち夫婦にとって大切な時間になりました。ちなみにラフとは英語で「笑う」という意味。ラフ！幸せ掴んで良かったね！ずっとずっと幸せにね！（一時預かり・笠井 清美）



ラフちゃん

② 柴犬・花丸 (H27/2 譲渡)

ラフの譲渡が内定した後、新たにレスキューしたのが柴犬「花丸」でした。偶然にも柴犬続きとなり（私は実家も柴犬飼っている・笑）柴神様からの指令かな〜なんて思ったほど。柴犬は脱走が多い犬種、花丸も引きの強いパワフルな男の子でした。ラフとは違い、とってもユニークで明るい人懐こい犬で私も主人も、保健所の職員さん達も花丸のファンでした（笑）そんな花丸でしたがフィラリア陽性であった為、継続的な投薬が必要。フィラリア感染していることが原因なのか？なかなかご縁が無い中、土肥のご家族からお申し出いただきました！理解あるご家族は二度にわたり、譲渡会に来てくださり、花丸を家族に迎えてくださいました！特に旦那さまが花丸にメロメロだそうな（笑）名前も「マル」と改め、本当に幸せに暮らしています。マルちゃん！おもいっきり甘えてますます幸せになってね！（一時預かり・笠井 清美）



マルくん

Go with me on difficult journeys.

Everything is easier for me if you are there. Remember I love you.
最期の旅立ちの時も一緒にいてください。あなたがいてくれることが私の幸せなのです。
忘れないで・・・私があなを愛していることを・・・ ～ 犬の十戒より抜粋 ～

③ ウェルシュコーギー・コーター (H26/4 譲渡)

初めは戸惑いはあったと思いますが、人間に対し不信感のない子で友好的だったため、すぐに多くの利用者や職員となじみました。甘えん坊な面が多く人が見えなくなると鳴いていました。散歩は利用者の犬のお世話担当の人が決まっており、交代で散歩してくれます。引っ張りがありますが、女性でも散歩ができるので自然がいっぱいの散歩道を楽しそうに散歩しています。以前の飼い主さんが車に乗せていたのか、コーターの近くに車を止めてドアを開けておくと短い足で一生懸命乗り込もうとします。皆を癒してくれるコーターです。

休憩時には皆コーターの周りに集まってなでなでしたり話しかけたりコーターは何人もの利用者の愚痴を、文句ひとつ言わずじっくり聞いてカウンセリングをしてくれています。Aさんという利用者が、コーター大好きで皆に内緒でフードをあげていたのですが太ってしまうのでご飯係りになってもらいました。1日朝夕にフードをカップ1杯ずつあげてもらう約束なのですが、いっぱい(たくさん)あげているので太ってしまったり、「お腹をこわすのでカップ1杯」と説明してもコーター大好きでいっぱいあげてしまい少々メタボ気味です。コーターは皆にとって、かけがえのない家族です。弟だったり、お兄さんだったり、お友達だったり、毎朝、頭をなでながら挨拶したり、内緒でおやつを持ってきてそっとふるまってくれる人もいます。大切な仲間であり家族です。(里親様・共生会 きさらぎ 大田 里美様)



コーターくん

④ 中型犬 Mix・チョコ (H26/7 譲渡)

飼い主さんの都合であらたに里親探しをすることになったチョコは預かり初日から一日中小屋の中で寝てばかりいるインドア派。非常におとなしい子なのですが、野良猫に興奮しては脱走…雷にビビっては脱走…といった具合に、こちらがどんなに警戒していても、一度スイッチが入ると突然豹変してしまい、フェンスを突き破りハーネスもブチ切る破壊力で、結果計3回も脱走を繰り返した超問題犬でした…そんな問題児を快く迎えて下さったおおらかな里親さんですが、油断は厳禁。尚一層の対策を宜しくお願いします。(一時預かり・菅根 いづみ)



チョコちゃん

⑤ 中型犬 Mix・はる (H26/11 譲渡)

箱根でハイカーさんに保護されて、その後一時預かりさん宅を転々とし最後は小屋無しの場所に1年ほど繋がればなしになっていた子でした。そんな環境にいても毛並みは良く、犬小屋には一切入らない&外で熟睡する気配も皆無の子なので、試しに家の中に入れたところ迷わず私のベッドに向かい、一日中そこで寝るのが彼女の生活スタイルになってしまいました。どうやら元はお嬢様だったようです。里親さん宅では今まで全て外飼いの子だったそうですが、彼女のお嬢様体質を尊重し、譲渡後も室内飼育をして頂けることになりました。今では奥様のベッドがはるちゃん的生活拠点だそうです。(一時預かり・菅根 いづみ)



はるちゃん

7. 「迷い犬に係るチラシ」沼津市で配布決定 (H.26/5)

当クラブで提案し、沼津市と東部保健所が協議し県が作成して沼津市で配布が決定しました。「飼い主の皆様へ」と題したA4用紙に、犬が迷子になった時の注意事項等が詳しく書かれています。もし大切な「うちの子」がいなくなった時、どこに連絡したらよいかご存じでしょうか？ すぐに、保健所・沼津市役所・警察署に連絡してください。迷い犬として保健所に収容された犬は1週間以内に引取手が現れなかった場合は処分の対象となってしまいます。大切な「家族」を守るのはあなたです。

★セラピードッグ育成募金へのご協力ありがとうございます！(募金箱設置の会社、お店など)

(株)ジャスコム/阿蘭陀館/リフテック/ペド・ノンヌ/沼津観光協会/わんのはな/パイン動物病院
NPO SIDAM/ドッグサロン・ヒビ/トニスホルル/フビ倶楽部/ドッグカフェ ホワホワ/スナック ジョンプル 他